

令和5年6月

各 位

八戸市東京事務所長

## 八戸レポートの送付について

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

「八戸レポート令和5年6月号」をお送りいたしますので、ご高覧くださいますようお願いいたします。

サッカーJ3 ヴァンラーレ八戸の武部洸佑選手と江幡俊介選手が八戸市の「ホームタウン応援大使」に就任しました。

ホームタウン応援大使は、ヴァンラーレ八戸が昨季から実施しているホームタウンをPRする応援大使で、全27選手が青森県南16市町村それぞれの大使として、イベントへの参加や個人の交流サイト（SNS）での投稿を通じ、地域の魅力発信を後押ししています。

武部選手は、5月8日に八戸市庁を訪問した際「他の選手と行ったレストランや定食屋をSNSで紹介したい」と意気込みを語っていました。

みなさんもヴァンラーレ八戸を応援しましょう！

◆ヴァンラーレ八戸のHPはこちら

<https://vanraure.net/>

### ◎皆様へのお願い

職業、役職、住所などに変更がある場合は、八戸市東京事務所までお知らせくださいますようお願い申し上げます。

### 八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-4-2 全国都市会館 5階

電話 (03) 3261-8973 / FAX (03) 3239-6723

E-mail: [tokyo@city.hachinohe.aomori.jp](mailto:tokyo@city.hachinohe.aomori.jp)

# 入戸 6月号 レポート

令和5年5月の入戸市内での出来事や  
入戸市に関連する情報をお届けします。

## 【行政】

記事	概要
(1)	入戸市「子どもファースト事業」目玉政策 こどもの国の大型遊具 一部完成
(2)	入戸市7月から がん患者補整具購入費半額助成
(3)	種差海岸 三陸復興国立公園指定10周年
(4)	入戸市民大学講座始まる 第1回 俳優・市毛良枝さん講演

## 【産業】

記事	概要
(5)	タナカホーム（入戸）7年連続で入賞 ハウス・オブ・ザ・イヤー
(6)	入戸で2024年問題フォーラム開催 持続可能な物流探る
(7)	三浦建設工業（入戸）太陽光施設整備 自家発電で脱炭素経営
(8)	ルウエー大使館水産参事官ら来入 経済のつながり強化期待
(9)	IKEA 入戸に「受取センター」開設
(10)	入戸圏域バス「MaaS」推進 本年度もデジタルチケット販売

## 【地域】

記事	概要
(11)	入戸花火大会 8月20日開催
(12)	新品種「はれわたり」入戸・南郷で田植え
(13)	マチニワ5店出店 ビアガーデン開催
(14)	入戸・種差朝ヨガ始まる
(15)	カナダ人インフルエンサー プレイスウェイトさん 入戸の魅力体験海外に配信へ
(16)	今年初のはちのへホコテン 青空マーケットも併催
(17)	入戸と南部町の期日前投票所 「学生立会人」初登場

## 【文化・スポーツ】

記事	概要
(18)	明治神宮 明治記念総合短歌大会 佐々木さん（創 短歌クラブ代表）最高賞
(19)	4年ぶり うみねこマラソン 待ちに待った潮騒コース
(20)	白銀四頭権現神楽 初の自主発表会 熱演次々

## 【行政】

記事	概要
(1)	<p><b>八戸市「子どもファースト事業」目玉政策 こどもの国の大型遊具 一部完成</b></p> <p>八戸市が八戸公園こどもの国で整備を進める滑り台やらせん階段などを組み合わせた大型複合遊具を核とする遊び場の一部が完成し、4月から無料で供用を開始している。遊具の整備は、熊谷雄一市長が進める「子どもファースト事業」の目玉の一つで、令和4年～7年度の4カ年計画で、国の社会資本整備総合交付金を活用。目に見える子育て支援策で子育て世代の満足度アップを図る。</p>
(2)	<p><b>八戸市7月から がん患者補整具購入費半額助成</b></p> <p>八戸市は7月からがん患者の負担軽減と社会参加の支援のため、がん患者が利用する医療用ウィッグや胸部補整具の購入費助成事業を開始する。助成対象者は、がんと診断され医療用補整具を必要とする市民。医療用ウィッグか、補整下着や人工乳房など胸部補整具のうち、いずれかの購入費の半額（上限3万円）を助成する。胸部補整具への助成は県内で初の取り組みとなる。</p>
(3)	<p><b>種差海岸 三陸復興国立公園指定10周年</b></p> <p>八戸市の種差海岸が2013年に三陸復興国立公園に指定されてから10周年を迎えた。市は5月24日、「祝 種差海岸」などと記した懸垂幕を市庁別館に設置し、除幕セレモニーを実施。節目を契機に、関係者らは「国の宝」である種差海岸の豊かな自然環境や生態系を後世に引き継ぐ決意を新たにした。市は10周年記念事業として、種差海岸の次世代への継承を目的に現状や課題をテーマとしたシンポジウムを年内に開催する予定。</p>
(4)	<p><b>八戸市民大学講座始まる 第1回 俳優・市毛良枝さん講演</b></p> <p>八戸市民大学講座が5月24日、市公会堂で始まった。本年度は全10講座を予定しており、第1回目の講義は種差海岸の三陸復興国立公園指定10周年を記念し、過去にみちのく潮風トレイル開通記念イベントに参加するなど青森にゆかりのある俳優の市毛良枝さんが登壇した。「山と出合って開いていった新しい扉」と題して講演し、聴講した約300人は何事にも挑戦することの大切さを学んだ。</p>

## 【産業】

記事	概要
(5)	<p><b>タナカホーム（八戸）7年連続で入賞 ハウス・オブ・ザ・イヤー</b></p> <p>省エネルギー性能に優れた住宅を表彰する2022年度の「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー」（日本地域開発センター主催）で、八戸市のタナカホームが手がける「HIRAYA（ヒラヤ）」「LIVE FIT（リブ フィット）」の2シリーズが優秀賞に選ばれた。7年連続の入賞で、長年にわたって入賞を続けていることを受け、昨年に引き続き「省エネ住宅特別優良企業賞」も受賞した。設備機器などの省エネ性能、健康・快適性、省エネ住宅普及に向けた取り組みなどが評価された。</p>

(6)	<p><b>八戸で2024年問題フォーラム開催 持続可能な物流探る</b></p> <p>2024年4月以降のトラック運転手の時間外労働の規制強化で人手不足が予想される「2024年問題」を巡り、青森県トラック協会などは5月9日、八戸市内で「八戸物流フォーラム」を開いた。規制強化により運転手の労働時間が改善される一方で、収入減少による離職者の増加、担い手不足、物流の停滞が懸念され地域経済に影響を及ぼす可能性も指摘されている。物流事業者ら関係者の危機感は強く、集まった約400人の参加者は、課題を共有するとともに、持続可能な将来像について考えた。</p>
(7)	<p><b>三浦建設工業（八戸）太陽光施設整備 自家発電で脱炭素経営</b></p> <p>建築鉄骨の製作などを手掛ける三浦建設工業（八戸市）は、同社敷地内に自家消費型太陽光発電施設を導入し3月から運用している。鉄骨製作では大量にエネルギーを使用することから、同社は環境に配慮した企業活動に力を入れている。同社が使用する年間電気量の35%相当を同施設の発電で賄う計画。県環境政策課によると、県内の事業所の発電施設は通常、売電が目的で、完全自家消費型は多くないという。同社は「脱炭素経営でカーボンニュートラルの達成を目指すとともに、他社との差別化を図りたい」と強調する。</p>
(8)	<p><b>ノルウェー大使館水産参事官ら来八 経済のつながり強化期待</b></p> <p>ノルウェー大使館のクアルハイム水産参事官とツアイ水産アドバイザーが5月18、19日来八し、初日は水産、観光、飲食などさまざまな分野の関係者らと交流を深め、サバをはじめとしたノルウェー産水産物の有効活用について情報交換を行った。19日は八戸市庁に熊谷市長を訪ね、持続可能な水産業を目指すノルウェーの漁業制度などを巡って懇談した。不漁の影響を受ける八戸の水産加工業界では、原料としてノルウェー産サバを活用する会社も多く、関係者は「八戸とノルウェーの関係性が今後さらに強固なものになればいい」と経済的なつながりの強化に期待を寄せる。</p>
(9)	<p><b>IKEA 八戸に「受取センター」開設</b></p> <p>イケア・ジャパン（千葉県船橋市）は5月25日、八戸市長苗代前田に大型家具の受け取りができる「商品受取センター八戸」を開設する。同社は店舗やオンライン販売などをつないで総合的にアプローチする「オムニチャンネル化」を推進中。同市や近隣地域の消費者がオンラインストアや店舗で購入した商品を通常配送より手頃な価格で受け取ることができるという。商品は仙台市の店舗から八戸の受取センターに運ばれる。</p>
(10)	<p><b>八戸圏域バス「MaaS」推進 本年度もデジタルチケット販売</b></p> <p>ITを活用して多様な交通手段を一体的に提供する「MaaS（マース）」の推進に向け、本年度も八戸圏域のバスを対象にした、スマートフォンなどを使ったデジタルチケットの販売が行われる。昨年度に続く青森県の実証事業で、新たに鉄道など他の公共交通機関との連携も検討している。対象は八戸市営バスと岩手県北自動車が行う運行する南部バス。6月からニーズ調査に乗り出し9月～来年3月に販売する予定。昨年度は、圏域内にある文化施設やレストランなどの割引き券と組み合わせた2種類の周遊券を用意した。今季発売分の価格は検討中という。</p>

## 【地域】

記事	概要
(11)	<p><b>八戸花火大会 8月20日開催</b></p> <p>八戸市の夏の風物詩「八戸花火大会」を主催する大会委員会は5月9日、今年の大会を8月20日に開催することを決めた。館鼻岸壁を会場に、6千発の打ち上げを目標とする。入場者は引き続き、有料席の購入者と招待者に限るが、上限は昨年までの5千人から7千人に増やす。資材価格の高騰で経費の増加が見込まれるため、企業や団体などに協賛金による支援を呼び掛ける方針。</p>
(12)	<p><b>新品種「はれわたり」 八戸・南郷で田植え</b></p> <p>今秋全国デビューする青森県産米の新品種「はれわたり」の田植えが5月14日、八戸市南郷島守の水田で行われた。昨年の試験栽培を経て、今年から本格的に作付けが始まる。日本穀物検定協会（東京）による2022年産米食味ランキングでは、参考品種としての初出品ながら最高評価「特A」を獲得した。「コシヒカリ」や「ひとめぼれ」の流れを組み、県南地方にとっては06年「まっしぐら」以来の作付け可能品種。寒さや病害に強く、もっちりとした舌触りの良さが特長。</p>
(13)	<p><b>マチニワ5店出店 ビアガーデン開催</b></p> <p>八戸市の商店街振興組合三日町三栄会は5月20日、同市三日町のマチニワで、中心街の飲食店が出店する「うまいものフェスビアガーデン」を開催した。とんかつや中華料理、居酒屋など5店舗が出店。会場では、三栄会と第一興商（東京）が共催する「わくわくステージ」も行われ、会場に集まった人々は歌と踊りのステージも楽しんだ。二つのイベントの合同開催は初めてで、街はにぎわった。</p>
(14)	<p><b>八戸・種差朝ヨガ始まる</b></p> <p>八戸市鮫町の種差天然芝生地で5月27日、種差あねっこが主催する今季の「種差朝ヨガ」が始まった。初日は過去最高の146人が参加。参加者は、心地よい潮風や芝生の感触を確かめながら、インストラクターの動きを参考に体を動かし、思い思いに楽しんだ。朝ヨガは9月30日までの毎週土曜と6～9月の第4日曜、午前7～8時に開催。予約不要で、参加費は500円（小学生以下無料）。</p>
(15)	<p><b>カナダ人インフルエンサー ブレイスウェイトさん 八戸の魅力体験海外に配信へ</b></p> <p>日本の魅力や観光情報を伝えるインフルエンサーとして活動するカナダ出身のミカエラ・ブレイスウェイトさん（福岡県在住）が5月27、28の両日、来八した。欧米圏から東北地方への誘客を目指す東北観光推進機構（仙台市）の事業で招請。ブレイスウェイトさんは、山形、宮城などを周り、27日に八戸入り。種差海岸や館鼻岸壁朝市、中心街の横丁などユーチューブや交流サイト（SNS）で発信する地元の魅力を体験した。今後、八戸を含めた東北の情報を編集して発信する予定。ユーチューブのチャンネル登録者は約29万5千人、インスタグラムのフォロワーは約6万2千人。</p>

(16)	<b>今年初のはちのへほコテン 青空マーケットも併催</b>
	今年初の八戸市中心街が歩行者天国となるイベント「はちのへほコテン」が5月28日、開かれた。市庁前市民広場を会場とした「青空マーケット」も同時開催され、街なかには多くの家族連れでにぎわった。この日は、あいにくの雨となったが、いずれのイベントにも30店舗以上が出店し、さまざまなグルメが販売されたほか、歌や踊りのステージも繰り広げられた。今年のコテンは10月まで（7月を除く）に月1回開催。青空マーケットは年内にあと2回開かれる予定。
(17)	<b>八戸と南部町の期日前投票所「学生立会人」初登場</b>
	若い世代の政治への関心を高めようとする新たな試みが5月20日、八戸市と南部町で始まった。両市町の選挙管理委員会が、6月4日投開票の青森県知事選で、期日前投票の進行を見守る立会人に、初めて学生を起用。学生立会人を務めたのは、八戸工業大工学部3年の葛西雄大さんと八戸学院大健康医療学部3年の川村和さん。それぞれの投票所で職務に当たった学生は「面倒だと思っていた期日前投票の手続きが簡単にできることが分かった」などと語り、選挙を身近に感じた様子だった。

【文化・スポーツ】

記事	概要
(18)	<b>明治神宮 明治記念総合短歌大会 佐々木さん（創 短歌クラブ代表）最高賞</b>
	八戸市の短歌グループ「創 短歌クラブ」代表の佐々木絵理子さんが明治神宮春の大祭奉祝明治記念総合短歌大会で、初応募で最高賞の特選を受賞した。同大会には、全国から1973首が献詠され、特選10首、入選20首、佳作170首が選ばれた。作品は「延命は断乎拒否すと雪かきもまだ現役の母の筆圧」。青森市で一人暮らしをする母親が有事に備えて財布に入れている「延命はなし」と書いた紙切れのエピソードを詠んだ。
(19)	<b>4年ぶり うみねこマラソン 待ちに待った潮騒コース</b>
	第42回八戸うみねこマラソン全国大会（デーリー東北新聞社、青森陸上競技協会、八戸市陸上競技協会主催）が5月21日、八戸市の館鼻岸壁付近を発着点に行われた。新型コロナウイルスの影響で3年連続中止となっていたが、4年ぶりの開催となった。距離、年代、性別で別れた計21部門に全国22都道府県から4108人がエントリー。当日は懸念された雨は降らず、新緑の海岸線には、浜風を受けながら力いっぱい走る参加者の姿が見られた。
(20)	<b>白銀四頭権現神楽 初の自主発表会 熱演次々</b>
	260年以上の歴史を持つ八戸市白銀地区の白銀四頭権現神楽保存会は5月21日、白銀公民館で初めて自主開催した。例年7月の三嶋神社例祭で披露しているが、コロナ禍による3年間の中止で子どもたちの発表の場が少なくなったことや、底辺の拡大を目指して特別に発表の場を設けた。発表会では、「三番」「浦島」「翁」など曲芸的な盆舞と剣舞を披露した。当日は鮫神楽連中もゲスト出演して花を添えた。地元での久しぶりの熱演に、約130人が詰めかけた会場は大いに沸いた。

はちのへ

## ふるさと寄附金のご案内

### 『ふるさと寄附金』で八戸を元気に!

八戸市では、「八戸を応援したい!」「八戸が大好き!」という方々からいただくご寄附を『ふるさと寄附金』と名付け、八戸の魅力を高めるためのさまざまな事業に活用させていただいております。ぜひ、『ふるさと寄附金』という形で八戸市を応援してください!



### ふるさと寄附金の3つの魅力

- 1 寄附金の使い道を指定できる**  
震災復興、子育て支援、まちづくりなど複数の分野から、寄附金の使い道を選ぶことができます。
- 2 税金が控除(還付)される**  
控除上限額内で寄附を行うと、合計寄附額から2,000円を超える部分について、所得税の還付や住民税の控除を受けることができます。(控除上限額は収入や家族構成によって異なります。詳しくはお住まいの市区町村の個人住民税担当部署にお問い合わせください。)
- 3 お礼の品がもらえる**  
八戸市では、10,000円以上の寄附をされた八戸市外にお住まいの個人の方に、地域の名産品を「お礼の品」としてお届けしています。

### 申込み方法

#### 郵送・FAX・メール

- 「ふるさと寄附金申込書」に必要事項をご記入の上、ご提出ください。
- 申込書は市ホームページからもダウンロードできます。
- 申込書の郵送をご希望の方はご連絡ください。

市ホームページ



#### インターネット

- 下記2つのふるさと納税ポータルサイトから商品をお選びいただけます。
- 各ポータルサイトの決済方法に従って、寄附金のお支払いをお願いします。
- クレジットカード決済をご希望の場合はこちらからお申込みください。

ふるさとチョイス

楽天ふるさと納税



### 送付先

#### 八戸市 広報統計課 ふるさと寄附金担当

〒031-8686

青森県八戸市内丸1-1-1

TEL:0178-43-2319

FAX:0178-47-1485

Email:furusatotax

@city.hachinohe.aomori.jp

※担当部署が住民税課から広報統計課に変わりました。

## 八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館5階

TEL:03-3261-8973 FAX:03-3239-6723

Email:tokyo@city.hachinohe.aomori.jp

[所長] 番沢 啓司 [主事] 前田 哲 [事務員] 浜井 章代

八戸市東京事務所では、企業誘致や八戸市関連情報の発信等を行っております。関連情報がございましたら、ご提供くださるようお願いいたします。また、事務所の近くにお越しの際は、どうぞお気軽にお立ち寄りください。